

2017年8月23～24日 ② 24日6時現在

防衛大臣イージス艦視察、沖縄、オスプレイ、米第7艦隊司令官解任、核兵器廃絶

防衛相 運用可能な日米イージス艦の連携深め警戒に
NHK8月23日 17時48分



小野寺防衛大臣は記者団に対し、アジア太平洋地域でアメリカ軍のイージス艦の事故が相次いでいることに関連して、運用可能な日米のイージス艦の連携を深め、引き続き、北朝鮮による弾道ミサイルの警戒にあたる考えを示しました。小野寺防衛大臣は防衛省で記者団に対し、午前中、日本海で北朝鮮による弾道ミサイルの発射に備え警戒にあたっているイージス艦を視察したことを明らかにしたうえで、イージス艦と地上配備型の迎撃ミサイル・PAC3の2段構えの態勢を継続する考えを示しました。

また小野寺大臣は、記者団が「アメリカ軍のイージス艦の衝突事故が相次いでおり、ミサイル防衛に懸念はないか」と質問したのに対し、「太平洋に展開している在日米軍のイージス艦7隻のうち2隻が事故でしばらく運用ができないことになるが、現在あるアメリカ側のイージス艦と、もともと日本にある4隻のイージス艦の連携を持って、しっかり穴がないように対応していきたい」と述べ、運用可能な日米のイージス艦の連携を深め、引き続き北朝鮮による弾道ミサイルの警戒にあたる考えを示しました。

小野寺防衛相がイージス艦視察＝警戒監視中は初めて



イージス艦の運用状況を確認する小野寺五典防衛相（左）＝23日午前、日本海（防衛省提供）

小野寺五典防衛相は23日、北朝鮮による弾道ミサイル発射に備え、日本海で警戒監視に当たる海上自衛隊のイージス艦に搭乗し、戦闘指揮所や訓練の状況を視察した。防衛相が警戒監視中のイージス艦を視察するのは初めて。

日本のミサイル防衛は、高高度をイージス艦搭載の迎撃ミサイル「SM3」が担う。小野寺氏は「絶え間なく警戒監視を続け、万一の事態には持てる能力を最大限発揮し、わが国を守り抜くことが求められている。弾道ミサイル防衛の成否は諸君の双肩にかかっている」と海自隊員に訓示した。（時事通信 2017/08/23-17:45）

防衛相、イージス艦を「隠密視察」 都内で政務のはずが朝日新聞デジタル土居貴輝 2017年8月24日00時34分

小野寺五典防衛相は23日午前、日本海で北朝鮮の弾道ミサイルの警戒監視にあたっている海上自衛隊のイージス艦「ちょうかい」を視察した。防衛省は小野寺氏の午前中の日程を「都内で政務」と公表しており、「隠密視察」となった。

政府関係者によると、小野寺氏は23日午前8時に防衛省から陸上自衛隊のヘリコプターで出発。埼玉県航空自衛隊入間基地でU4多用途支援機に乗り換えるなどして、鳥取県沖の日本海で警戒監視を続けるちょうかいへ着艦した。艦内の戦闘指揮所（CIC）を視察し、乗員を激励した。

防衛省が22日夜に公表していた小野寺氏の日程によると、23日午前10時から午後1時半ごろにかけて「都内で政務」とされ、その後、省内で説明などを受ける予定となっていた。防衛相の日程は防衛省に常駐する記者に公表されており、変更があった場合にはその都度通告されるが、今回の視察については、視察が終わった後の23日午後2時過ぎに公表された。

統合幕僚監部の担当者は「23日に視察することを準備してきたが、部隊の任務に支障を来さないよう防衛相の視察の予定を事前に明らかにすることを控えた」と説明した。防衛省報道室の担当者は「報道室も、視察について事前に伝えられていなかった。防衛相の日程が変更されていたなら、常駐記者にも変更されたことを伝えるべきだった」と話した。

視察を終えて、23日午後防衛省に戻った小野寺氏は「洋上の最前線における過酷な勤務環境の中、24時間、勤務している隊員の姿を確認できた。隊員はかなり長期間、警戒監視にあたっているのも、ねぎらいも含めて声をかけた」と話した。米海軍横須賀基地（神奈川県）を拠点としている米イージス艦2隻が衝突事故で使えない状態となっていることについては「米側の（残りの）イージス艦、日本に（弾道ミサイル防衛対応の）4隻のイージス艦があるので、その連携でしっかり穴がないよう対応していきたい」と述べた。（土居貴輝）

小野寺防衛相 海自のイージス艦を視察

毎日新聞 2017年8月23日 19時19分（最終更新 8月23日 19時38分）

小野寺五典防衛相は23日、日本海で北朝鮮による弾道ミサイル発射への警戒任務にあたる海上自衛隊のイージス艦を視察した。防衛相が海上で警戒監視中のイージス艦を視察するのは初めて。視察後に防衛省で記者団に明らかにした。

小野寺氏は23日午前、ヘリコプターで日本海に展開中のイージス艦に着艦。戦闘指揮所や訓練の様子を視察し、隊員に訓示した。小野寺氏は記者団に「弾道ミサイル防衛で、24時間勤務をしている隊員の姿を確認することができた」と述べた。

小野寺氏はまた、神奈川県横須賀基地を母港とする第7艦隊所属のイージス駆逐艦2隻が、6月と8月に相次いで衝突事故を起こし、ミサイル防衛への悪影響が懸念される点について「日本のイージス艦4隻と米側とで連携し、穴がないように対応していきたい」と話した。【秋山信一】

しんぶん赤旗 2017年8月24日(木)

沖縄・名護市長選 来年1月28日告示 稲嶺氏 3選へ出馬表明 「新基地問題に終止符打つ」

沖縄県名護市の稲嶺進市長は23日に記者会見を開き、「『名護市に新たな基地は造らせない』という信念を最後まで貫く」と述べ、来年1月28日告示、2月4日投票の名護市長選で3期目の挑戦へ立候補を表明しました。「あらゆる権限や手段を行使し、翁長知事と力を合わせて辺野古新基地建設問題に終止符を打つ覚悟だ」と決意を語りました。

稲嶺氏は「立場や主義主張の違いを乗り越え支援してくれた市民に感謝し、



(写真) 出馬会見にのぞむ稲嶺進市長＝23日、沖縄県名護市

その思いを一つに『50年先の名護市の未来』を築いていく」と発言。出馬を決意した大きな理由に「政府の沖縄に対する無慈悲な仕打ち」を挙げました。

政府がオスプレイ配備撤回や辺野古移設断念などの沖縄県民の民意を無視する間に、元海兵隊員が女性を殺害し、名護市安部(あぶ)やオーストラリア沖で相次ぎオスプレイが墜落したと指摘。それでもオスプレイが飛行し続けていることに「主権国家とは言い難い、基本的人権を無視した米軍追従の政府に怒りを禁じえない」と述べました。

暮らしの問題では、県北部住民の悲願である県立北部病

院と北部医師会立病院の統合による基幹病院の設置に全力を注ぐと、市政発展の方向についても示しました。

選挙戦は稲嶺市長のほかにも、自民党が推す候補者が立候補し一騎打ちになる見通し。同党名護市支部は同市議会の自民系会派長の渡具知武豊市議を候補者に擁立しましたが、県連はまだ推薦を決定していません。公明党も立場を明らかにしていません。

自民陣営は、辺野古問題を争点から外す意図から、県北部医療の統合問題を最大争点に選挙をたたかうことを考えています。

会見でこの点を問われた稲嶺氏は「国の仕打ちにこれまでにない危機感を持っている。辺野古抜きに選挙はありえない。市民の思いをないがしろにすることになる。これまで容認してきた人は自信を持って、その立場で選挙をたたかい、市民に選択をしてもらわなければならない」と述べました。

辺野古問題「終止符打つ」＝稲嶺氏が3選出馬表明一名護市長選



来年2月4日投開票の沖縄県名護市長選への出馬を表明する稲嶺進市長(中央)＝23日午後、沖縄県名護市

沖縄県名護市の稲嶺進市長(72)は23日、同市内で記者会見し、来年2月4日投開票の市長選に3選を目指して出馬すると表明した。市長選は米軍普天間飛行場(宜野湾市)の名護市辺野古への移設の是非が最大の争点。稲嶺氏は首長権限を行使して阻止する考えを示すとともに、「問題に終止符を打つ覚悟だ。信念を最後まで貫く」と強調した。

市長選には、移設を容認してきた自民党系の渡具知武豊・名護市議(56)も立候補の意向を明らかにしている。選挙結果は移設工事の進捗(しんちょく)や来年秋の県知事選にも影響を与えそうだ。(時事通信 2017/08/23-19:55)

名護市長が3選出馬表明 辺野古基地「断固阻止」

共同通信 2017/8/23 23:17

沖縄県名護市の稲嶺進市長(72)は23日、同市で記者会見し、来年2月の市長選に3選を目指して立候補すると表明した。市長選は米軍普天間飛行場(宜野湾市)の名護市辺野古移設が争点で、反対を貫く稲嶺氏と、容認する立場の自民党地元支部が擁立を決めた渡具知武豊・名護市議(56)の一騎打ちになる見通しだ。

稲嶺氏は「あらゆる手段を行使し、翁長雄志知事と力を

合わせて辺野古新基地建設を断固阻止し、その問題に終止符を打つ覚悟だ」と述べた。

沖縄の反対を顧みず移設工事が進められている現状について「国の仕打ちと強行する姿勢に危機感を持っている」と強調。

名護・稲嶺市長、3選出馬表明 普天間移設「断固阻止」 朝日新聞デジタル小山謙太郎 2017年8月23日 23時08分

米軍普天間飛行場（沖縄県宜野湾市）の同県名護市辺野古への移設計画が争点となる来年2月の名護市長選で、移設に反対する稲嶺進市長（72）が23日、3選をめざして立候補すると正式に表明した。与党市議団や後援会関係者らと市内で会見を開いた。

出馬の理由として稲嶺氏は「政府の沖縄に対する無慈悲な仕打ちとも思える辺野古（移設）強行に、強い危機感を持っている」と語り、移設に反対している翁長雄志（おながたけし）知事との連携を強調。「あらゆる権限や手段を行使し、力を合わせて新基地建設を断固阻止する」と述べた。

市長選を巡っては、市議会の自民系会派の会長を務め、辺野古移設を容認してきた渡具知武豊（とぐちたけとよ）市議（56）が先月、無所属で立候補することを表明している。（小山謙太郎）

名護市長選 3選出馬表明の稲嶺氏「辺野古建設を阻止」 毎日新聞 2017年8月23日 21時48分(最終更新 8月23日 21時52分)



来年2月の名護市長選に3選を目指して出馬することを正式に表明した稲嶺進市長＝沖縄県名護市で2017年8月23日午後6時9分、佐藤敬一撮影

米軍普天間飛行場（沖縄県宜野湾市）の名護市辺野古への県内移設計画に反対する名護市の稲嶺進市長（72）は23日、来年2月4日投開票の市長選に3選を目指して出馬することを正式に表明した。市長選は辺野古移設の是非が最大の争点になる見通しで、稲嶺氏は「あらゆる権限や手段を行使し、翁長雄志（おながたけし）知事と力を合わせて辺野古新基地建設を断固阻止し、問題に終止符を打つ

と述べた。

稲嶺氏は記者会見で「名護市は選挙の度に市民が二分され、基地問題に翻弄（ほんろう）されてきた。辺野古の問題を抜きにしてはありえない」と強調。沖縄県と政府が移設問題で対立する現状を踏まえて、市長選での勝利が「翁長知事を支える大きな後ろ盾になる」と述べた。

稲嶺氏は市教育長などを経て、2010年の市長選で普天間飛行場の県外移設を掲げて初当選。前知事が辺野古の埋め立てを承認した直後に行われた14年の市長選でも移設推進の元自民党県議を破って再選した。

名護市長選を巡っては、市議会の自民系会派の会長を務め、辺野古移設を容認してきた渡具知武豊（とぐちたけとよ）市議（56）が7月に無所属で立候補することを表明している。【佐藤敬一】

名護市長選 結果は県知事選や辺野古移設に大きな影響 毎日新聞 2017年8月23日 21時51分(最終更新 8月23日 21時51分)

来年2月4日に投開票される名護市長選の結果は、来秋の沖縄県知事選や米軍普天間飛行場（沖縄県宜野湾市）の名護市辺野古への移設計画に大きな影響を与えるとみられている。政府・与党は、市長選での与党系勝利を来年の知事選勝利につなげ、移設実現に向けた環境を整えたい考え。これに対し、3選を目指す名護市の稲嶺進市長や沖縄県の翁長雄志（おながたけし）知事ら移設反対派は、移設阻止への流れを加速化する好機と位置付け、双方が激しくぶつかることになる。

今年に入り、宮古島、浦添、うるまの県内各市長選で与党系候補が勝ち、政府・与党は移設反対派の翁長氏へ…

しんぶん赤旗 2017年8月24日(木)

ジュゴン訴訟 勝利喜ぶ 沖縄訪米団 原告らと意見交換 サンフランシスコ

【サンフランシスコ＝池田晋】
オール沖縄第2次訪米団（団長・伊波洋一



（写真）沖縄訪米団を拍手で迎える生物多様性センターのウェバー所長（奥）＝22日、カリフォルニア州オークランド（池田晋撮影）

参院議員)は22日、ドリス・マツイ下院議員(民主党)の事務所を訪れて要請を行ったほか、「沖縄ジュゴン訴訟」の原告である米環境団体・生物多様性センター(CBD)やパークレー市議会の関係者と意見交換しました。

同日のサンフランシスコ大学での交流フォーラムで伊波団長は、今回の訪米で計6人の上下両院議員に沖縄の米軍新基地問題を訴えることができ、アジア・太平洋系アメリカ人労働者連盟(APALA)の25周年大会でも沖縄への連帯決議があがったことをあげ、「大変成果のあるものになっている」と述べました。

カリフォルニア州オークランドのCBD事務所では、アンドレア・ウェーバー所長が前日出されたジュゴン訴訟の控訴裁判決について「大勝利でしたね」と訪米団を歓迎。沖縄県民として原告に参加する名護市の東恩納琢磨議員は「(勝訴で)門を開けてくれて本当にありがとう。最後の勝利まで一緒に突き進んでいきたい」と感謝の言葉を述べました。

米国の地方議会で初めて辺野古新基地建設に反対を採択したパークレー市議会では、市議や、決議を市議会に提案した助言機関「平和と正義の委員会」のメンバーらと懇談しました。

同委員会のジョージ・リップマン副委員長は、「私たちの委員会と市は、国際連帯の長い歴史がある。沖縄の人々は米国政府による軍事化で苦しんでおり、これはこの国のわれわれの問題だ」と述べ、引き続き沖縄を支援するために尽力すると語りました。

【沖縄ジュゴン訴訟】「重要な生命線」 原告側弁護士事務所が見解

沖縄タイムス 2017年8月23日 07:35

【平安名純代・米国特約記者】沖縄ジュゴン訴訟を巡り、米サンフランシスコの第9巡回区控訴裁判所が、一番を破棄してサンフランシスコ連邦地裁へ差し戻した判決に関し、米環境保護法律事務所の「アースジャスティス」は21日に声明を出し、「絶滅危惧種の沖縄ジュゴンにとって非常に重要な生命線だ」との見解を示した。

米国文化財保護法(NHPA)は、他国の法で保護された文化財も保護対象とすると定めている。同訴訟で原告側の弁護を担当したアースジャスティスは、「ジュゴンは、日本の文化財保護法の下で、国の文化的意義を持つ対象とされている。米国政府はその行為(工事)の影響を考慮し、文化的意義のある場所や事物への危害を回避または緩和しなければならない」と指摘した。

原告の生物多様性センターのディレクター、ピーター・ガルビン氏は「(辺野古移設)計画の客観的な見直しを、米国防総省に、この環境的かつ社会的に悲惨な軍事基地拡大計画を再考させることを期待している」と、今後の展開にも期待を示した。

オスプレイ 北海道で日米共同の夜間訓練に参加

NHK 8月23日 21時29分

アメリカ軍の輸送機オスプレイは、23日夜、北海道で日米共同の夜間訓練に参加し、部隊をパラシュートで降下させる訓練を行いました。オスプレイによる夜間訓練が沖縄県以外で行われたのは、沖縄の基地負担軽減を目指した去年の日米合意以降、初めてとなります。

アメリカ軍のオスプレイは、今月18日から陸上自衛隊とアメリカ海兵隊の日米共同訓練に参加し、隊員や物資の輸送などの訓練を行っています。

23日は午後6時40分ごろ、2機のオスプレイが、拠点となっている青森県のアメリカ軍三沢基地を離陸し、午後7時20分ごろ、北海道の恵庭市上空を飛行したあと北海道大演習場で夜間訓練に参加しました。自衛隊によりまずと、海兵隊員がオスプレイの後部からパラシュートで降下する、実戦を想定した訓練が行われたということです。

北海道恵庭市では、23日夜、アメリカ軍の輸送機オスプレイ2機が上空を飛行する様子が確認されました。1機は、午後7時15分ごろもう1機は午後7時20分すぎに南の空から現れ、赤と緑のナビゲーションライトを点灯したまま千歳市などにまたがる北海道大演習場の周辺を大きく旋回し、その後演習場に着陸したものと見られます。

オスプレイによる夜間訓練が沖縄県以外で行われたのは、沖縄の基地負担軽減を目指した去年の日米合意以降今回が初めてとなります。

オスプレイをめぐるっては、今月5日、オーストラリア沖で起きた墜落事故を受けて、防衛省が国内での飛行の自粛を求めたことなどから、今月10日の訓練初日から参加する当初の計画が見送られました。

北海道や演習場のある各自治体は、訓練内容の公表や安全管理の徹底を求めています。国やアメリカ軍からの情報提供は一部に限られているということです。

オスプレイ 北海道「引き続き注視」

オスプレイが夜間訓練に参加したことについて、北海道の担当者は「オスプレイの夜間訓練についても、国の責任において安全管理の徹底を求めていく姿勢に変わりはなく、引き続き道民の安全確保にむけて訓練の状況を注視していく」と話していました。

市民からは戸惑いの声

北海道大演習場がある恵庭市では、訓練についての十分な情報提供がないまま飛行が行われたことに戸惑いの声が上がっています。

32歳の会社員の女性は「今もどこに飛んでいるのか全然、知らされておらず、不安を感じます。オスプレイがどこに飛んでくるのかといった情報を事前にもっと知りたい」と話していました。

37歳の会社員の男性は「今、夜間に飛んでいることに驚

いた。何も知らされないまま飛ぶのはありえない。北海道の上空を飛んでほしくない」と改めて思った」と話していました。

オスプレイ 米「機体問題なし」 名護沖事故、調査報告へ

毎日新聞 2017年8月24日 東京朝刊

沖縄県名護市沖で昨年12月に起きた垂直離着陸輸送機オスプレイの不時着事故を巡って、米軍が「気象条件や人的要因が原因で機体に問題はない」と結論付けた事故調査報告書をまとめたことが分かった。日本政府関係者が23日、明らかにした。政府は近く米軍から提示される報告書を公表する。

事故は昨年12月13日夜に発生した。米軍普天間飛行場（沖縄県宜野湾市）所属のオスプレイが沖…

沖縄オスプレイ事故 米軍「気象条件や人的要因が原因」

毎日新聞 2017年8月23日 19時45分(最終更新 8月23日 19時45分)

「機体に問題はない」事故調査報告書まとめる

沖縄県名護市沖で昨年12月に起きた垂直離着陸輸送機オスプレイの不時着事故を巡って、米軍が「気象条件や人的要因が原因で機体に問題はない」と結論付けた事故調査報告書をまとめたことが分かった。日本政府関係者が23日、明らかにした。政府は近く米軍から提示される報告書を公表する。

事故は昨年12月13日夜に発生した。米軍普天間飛行場（沖縄県宜野湾市）所属のオスプレイが沖縄本島の東方沖約数十キロで、特殊作戦機MC130から空中給油を受ける訓練中、オスプレイのプロペラの羽根が給油ホースと接触し損傷。名護市沿岸に不時着して大破し、搭乗員5人のうち2人が負傷した。

米軍はオスプレイの飛行を一時停止したが「乱気流などが原因で機体に問題はない」として、事故から6日後に飛行を再開していた。

オスプレイを巡っては、今月5日にも普天間飛行場の所属機がオーストラリア沖で墜落する事故が発生した。米軍は既に「機体に欠陥はない」と判断しており、日本政府も飛行を容認したが、安全性への懸念から沖縄県は飛行中止を求めている。【秋山信一】

しんぶん赤旗 2017年8月24日(木)

オスプレイ配備撤回を 沖縄・名護市議会が意見書可決 自民系会派反対

米軍普天間基地所属のオスプレイがオーストラリア沖で墜落した問題で、沖縄県名護市議会は23日、同機の飛行中止と配備撤回、米軍普天間基地の閉鎖・撤去と県内移設断念を求める抗議意見書・決議を、稲嶺進市政与党と公明

党の賛成多数で可決しました。

意見書・決議は、オスプレイ24機が配備され、すでに2機が墜落しても飛行し続けているため「市民・県民を巻き込む大惨事につながりかねない」と記しています。

その上で、▽事故原因の徹底追及や情報公開▽在沖海兵隊の撤退を目指した米軍基地の実効ある整理縮小▽日米地位協定の抜本改定▽民間地上空での米軍機の飛行訓練中止などの抜本的な再発防止策—を含む全6項目を要求しています。

自民系会派は、オスプレイ配備撤回や普天間基地の県内移設断念を求めることに同意できないことを理由に反対しました。

さらに事故原因の徹底究明、辺野古・久志・豊原3地区と国立沖縄工業高等専門学校の背後地にある着陸帯の撤去を求める、与党案とは別の意見書と決議案を提案。自民系会派と公明党の賛成多数で可決しました。与党が「なぜオスプレイ配備撤回を求めないのか」と求めたのに対し、提案者の自民系議員は「(オスプレイは)日米で合意されて配備されていると理解している」と答えました。

第7艦隊司令官を解任＝事故続発で「信頼喪失」—米軍



事故を起こした米海軍のイージス駆逐艦「フィッツジェラルド」の前で記者会見する第7艦隊のアーコイン司令官＝6月18日、神奈川県横須賀市（EPA＝時事）

【ワシントン時事】米太平洋艦隊のスウィフト司令官は23日、横須賀を拠点とする傘下部隊、第7艦隊のアーコイン司令官を解任した。太平洋艦隊が発表した。アーコイン氏は、第7艦隊所属艦が相次いで重大事故を起こした責任を問われたとみられる。

太平洋艦隊は理由について「アーコイン氏の指揮能力に対する信頼の喪失」を挙げた。アーコイン氏は数週間以内に退役する予定だったが、海軍上層部は相次ぐ事故の重大さに鑑み、迅速な対応が必要と判断したもようだ。これに伴い、既に中將への昇格が承認されているフィリップ・ソーヤー少将が直ちに指揮権を引き継いだ。

ソーヤー氏は潜水艦乗組員としてキャリアを積み、太平洋潜水艦隊司令官などを務めた。2015年に第7艦隊副司令官に就任した。

第7艦隊所属のイージス駆逐艦「フィッツジェラルド」は6月、静岡県・伊豆半島沖でコンテナ船と衝突。乗組員

7人が死亡した。今月21日には同艦隊のイージス駆逐艦「ジョン・S・マケイン」がシンガポール沖で石油タンカーと衝突し、行方不明となった10人のうち数人の死亡が確認された。

このほか、第7艦隊の巡洋艦「アンティータム」が1月に横須賀沖の浅瀬で座礁。原子力空母「カール・ビンソン」を中心とする空母打撃群の巡洋艦「レイク・シャンプレン」も5月、韓国近海で漁船と衝突事故を起こした。(時事通信 2017/08/24-00:37)

米海軍、第7艦隊司令官を解任 事故相次ぎ早急な交代必要と判断

共同通信 2017/8/23 18:46

米海軍太平洋艦隊のスコット・スウィフト司令官は23日、神奈川県横須賀基地を拠点とする第7艦隊所属のイージス艦による衝突事故が相次いだことを受け、第7艦隊のジョセフ・アーコイン司令官を解任した。太平洋艦隊が発表。

アーコイン氏はもともと数週間以内に退役する予定だったが、ロイター通信によると、米政府当局者は「トップの早急な交代が必要」と指摘。事故の連続を重大視し異例の退役直前の解任となった。

海軍は事故を受け、第7艦隊の即応体制や訓練の在り方、整備体制、作戦の頻度などを広範に調査中。米メディアによると、現時点でアーコイン氏の具体的な過失は指摘されていない。

米第7艦隊司令官を解任へ イージス艦の衝突相次ぎ

朝日新聞デジタルワシントン＝杉山正 2017年8月23日 11時36分

ウォールストリート・ジャーナルなど複数の米メディアは22日、米海軍のイージス艦の衝突事故が相次いだことを受けて、第7艦隊のジョセフ・アーコイン司令官が解任される見通しだと伝えた。

第7艦隊は米海軍横須賀基地(神奈川県)に拠点を置く。所属のイージス駆逐艦ジョン・S・マケインが21日にシンガポール沖で民間タンカーと衝突し、乗組員10人が行方不明になった。また、6月には同型のイージス駆逐艦が静岡県の伊豆半島沖でコンテナ船と衝突して7人が死亡している。

6月の事故をめぐり、第7艦隊は駆逐艦側の過失を認め、艦長ら3人を解任していた。

今回の事故を受け、米海軍は世界に展開する全艦隊に安全確認のために1～2日間の運用停止を命令したほか、第7艦隊にはさらに徹底した検証を求めている。(ワシントン＝杉山正)

米海軍、第7艦隊司令官を解任 相次ぐ衝突事故受け

日経新聞 2017/8/23 19:58

米海軍は23日、神奈川県横須賀基地を拠点とする第7艦隊のジョセフ・アーコイン司令官を解任した。同艦隊は西太平洋からインド洋までの広い海域を担当しているが、今年に入りイージス駆逐艦による衝突事故が相次いで起き、責任を問われた。

アーコイン氏は2015年9月から同艦隊の指揮を執ってきた。ロイター通信によると、同氏は数週間以内に退役する予定だったという。米海軍は連続事故を重大視し、異例の退役直前の解任となった。

同艦隊を巡っては、21日にイージス駆逐艦「ジョン・S・マケイン」がシンガポール沖のマラッカ海峡近くでタンカーと衝突し、乗組員10人が行方不明となった。6月には伊豆半島沖で「フィッツジェラルド」がコンテナ船と衝突して死者が出た。

産経新聞 2017.8.23 20:56 更新

【米駆逐艦衝突】ジョセフ・アーコイン第7艦隊司令官を解任 事故直前に操舵不能に？ 米CNN報道



会見に臨む米海軍第7艦隊司令官

ジョセフ・アーコイン中将 後ろは米海軍イージス駆逐艦フィッツジェラルド＝18日午後、神奈川県横須賀市・在日米海軍横須賀基地(納富康撮影)

【ワシントン＝黒瀬悦成】米海軍太平洋艦隊のスコット・スウィフト司令官は23日、横須賀基地(神奈川県横須賀市)を拠点とする第7艦隊所属のイージス駆逐艦の衝突事故が相次いだことを受け、指揮統率力を問題視されていた第7艦隊のジョセフ・アーコイン司令官を解任した。太平洋艦隊が発表した。

複数の米政府当局者が米メディアに語ったところでは、アーコイン氏は本来、数週間以内に退役の予定だった。一連の事態をうけ解任されたが、同氏に具体的に過失があったとは確認されていない。

一方、CNNテレビは22日、シンガポール東方沖の南シナ海で起きたイージス駆逐艦「ジョン・S・マケイン」とタンカーの衝突事故について、マケインが事故直前に艦を制御できなくなるなど操舵(そうだ)システムの異常が衝突につながった可能性があるとして伝えた。

米海軍当局者がCNNに語ったところでは、マケインは

操舵機能が衝突の直前に失われ、事故後に回復した形跡がある。マケインには予備の操艦システムが搭載されているが、同システムは使われていなかった。

米海軍のリチャードソン作戦部長は21日、記者団に対し、イージス艦がサイバー攻撃を受けたことを示す証拠は現段階で見当たらないと説明した上で「調査では全ての可能性について探る」と述べた。

ホワイトハウスは22日、事故に関し声明を発表し、犠牲者の家族や友人に「哀悼の意」を表明した。

米海軍 第7艦隊司令官解任を発表

NHK8月23日 18時31分

アメリカ海軍は、今週、マラッカ海峡でイージス艦による衝突事故が起きるなど、アジア太平洋地域で艦艇の事故が相次いでいることを受けて、横須賀を拠点とする第7艦隊の司令官を解任したと発表しました。

アメリカ海軍の第7艦隊では、21日、マラッカ海峡を航行していたイージス駆逐艦「ジョン・マケイン」がタンカーと衝突し、10人の行方がわからなくなったほか、ことし6月にはイージス駆逐艦「フィッツジェラルド」が静岡県沖でコンテナ船と衝突し、7人が死亡する事故が起きています。

さらこのほかにもことし、2件の事故が起きています。

こうした中、ハワイに司令部があるアメリカ太平洋艦隊は、22日（日本時間の23日午後）、横須賀を拠点とする第7艦隊のジョセフ・アーコイン司令官を解任したと発表しました。

その理由については、「指揮能力に対する信頼を失ったためだ」としています。

また、後任には、中將への昇進が決まっているフィリップ・ソーヤー少将が就任し、直ちに指揮をとるとしています。一連の事故を受けてアメリカ海軍の制服組トップ、リチャードソン作戦部長はすべての艦艇を対象に1日から2日間、運用を停止し、安全性を確認する措置をとるよう命じるとともに、特に第7艦隊については訓練や整備などの状況を詳しく調べる方針を示しています。

アメリカ国内では、事故の背景に北朝鮮の弾道ミサイルの発射や中国の海洋進出への対応で、艦艇の運用の頻度が増加していることに加えて、防衛費の削減の影響などがあるのではないかという見方もあり、アメリカ海軍はこうした面についても検証を進めることにしています。

米艦、1月にも座礁事故..海軍「人的ミス原因」

読売新聞 2017年08月24日 06時00分

衝突事故が相次いでいる米イージス艦が、今年1月にも横須賀基地（神奈川県横須賀市）沖で座礁事故を起こし、米海軍が当時の艦長（解任）ら乗組員による人的ミスが重なったことが原因とする報告書をまとめていたことがわか

った。

伊豆半島沖でコンテナ船と衝突した6月の事故でも、人的ミスの可能性が指摘されている。海上自衛隊関係者からは「規律が緩んでいるのではないか」との懸念も出ている。

座礁事故を起こしたのは、第7艦隊所属のイージス巡洋艦「アンティータム」。読売新聞が入手した米海軍の報告書などによると、同艦は事故当日の1月31日朝時点で、沖合に停泊する時刻が予定よりも遅れていたため、いらだった艦長が担当者の判断を待たず、すぐに艦を止めるよう指示。本来の地点から200メートル以上離れた場所で停泊したため、強風で浅瀬に流され始めた。

核兵器廃絶の取り組み推進、政府に要請 広島・長崎両市 朝日新聞デジタル小野甲太郎 2017年8月23日 13時24分



河野太郎外相に要請文を手渡す田上富久・長崎市長＝外務省

田上富久・長崎市長と杉浦信人・広島市東京事務所長（同市長代理）は23日午前、外務省を訪問して河野太郎外相と面会し、政府に対し、核兵器廃絶に向けた取り組みの推進を求める要請文を手渡した。7月に国連で採択された核兵器禁止条約をめぐる、政府が「本気になって核保有国と非核保有国の橋渡し役として行動」し、実効性のある条約となるように力を尽くすことを求めた。

要請文は両市長名で安倍晋三首相あて。核兵器禁止条約を「被爆者をはじめとする多くの方々の願いである『核兵器のない世界』の実現への具体的な第一歩」と高く評価し、政府に対しては核不拡散条約（NPT）などの体制下での核軍縮の議論に貢献することなどを求めた。長崎市で開かれた平和首長会議総会では、10日に核保有国を含むすべての国に核兵器禁止条約の加盟を求める特別決議が採択されており、同決議も河野外相に手渡された。

田上氏によると、河野氏は両市の要請に対し、包括的核実験禁止条約（CTBT）などの批准を各国に働きかけたいと説明したという。一方、スイス・ジュネーブの国連欧州本部の軍縮会議本会議での高校生平和大使による演説が今年是实现しなかったことについて、河野氏は「日本代表として高校生が意見を発表することに異論を挟む国があり、調整ができなかった」として「高校生をその中に巻き込む

のではなく、今回は別の場を用意することにした」と説明。田上氏は河野氏に「高校生の思いを届ける場を今後とも作ってほしい」と求めたという。

核兵器禁止条約をめぐることは、政府は否定的な態度を取っている。9日に長崎市で開かれた平和祈念式典であいさつした首相は同条約に触れず、式典後、被爆者から「あなたはどこの国の総理ですか」と迫られる場面もあった。(小野甲太郎)

高校生の核廃絶演説かなわず 政府「問題視する国が…」
朝日新聞デジタルジュネーブ＝松尾一郎 2017年8月23日 13時01分



軍縮会議を傍聴する高校生平和大使ら＝22日、スイス・ジュネーブの国連欧州本部、松尾一郎撮影



軍縮会議の様子を議場上の傍聴席から見守る高校生平和大使ら（上）＝22日、スイス・ジュネーブの国連欧州本部、松尾一郎撮影

核廃絶と世界平和を訴える第20代高校生平和大使の22人が22日、スイス・ジュネーブの国連欧州本部を訪れ、軍縮会議本会議を傍聴した。2014年から16年にかけて、代表の高校生が本会議で日本政府代表団の一員として演説する機会を与えられてきたが、今年の実現しなかった。

在ジュネーブ日本政府代表部は本会議での高校生の演説について、「問題視する国があった。軍縮会議では全会一致で議決するのがルールなので、指摘を重んじた」と見送っ

た理由を説明した。日本政府が不参加を表明している核兵器禁止条約と、今回の決定は関係がないとしている。

代わりに在ジュネーブ日本政府代表部で前日21日夕に開かれた高見沢将林（のぶしげ）・軍縮大使主催のレセプションで、招待された外交官や国際機関職員らに対して発言する機会を与えられた。広島大学附属高校2年の小林美晴さん（16）は、曾祖母が原爆で犠牲になったことに触れて「核なき世界のために、被爆者の声を世界の人々に伝えていきます」と英語で演説すると、大きな拍手が起きた。

一行は22日午後、核廃絶と世界平和を求める21万4300筆の署名を国連軍縮部幹部に手渡した。(ジュネーブ＝松尾一郎)